



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第400号

2019年3月11日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 先生がいらない・足りない

今、学校現場はどこも教職員の長時間労働と先生不足で大変な状況です。3月議会では八千代市の未配置教員の実態を明らかにして改善を求めました。

答弁で「1月25日現在8小学校で12名。7つの中学校で8名。併せて20名が未配置」という驚くべき実態が分かりました。小中一貫校の議論よりも、未配置教員の解決こそが教育委員会のなすべきことではないでしょうか。

## 八千代市は未配置教員（県内）ワースト1

新学期が始まる4月には、学級担任や専科の教諭は基準定数に合わせて配置されていなければなりません。ところが、病休や産休の代替えを配置できずに授業や定期試験が行えず、「教育に穴があく」異常な事態が起きています。八千代市でも昨年4月には、8名の補充ができていないため「未配置」のままスタートというありえないことが起きています。

今年1月では20名が未配置となっており、県内ワースト1という深刻な事態です。

(下表は月ごとの未配置の先生の数です。 —2018年県教委の資料から—)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1
件数	8	10	8	9	12	10	14	14	9	20

先生未配置の学校現場では必死になってやりくりしています。他の先生が掛け持ちで授業をするとか、休憩もなく働き続けています。最悪の場合は子どもを自習にするしかありません。本来は未配置なんて許されないものです。これがまかり通っているところに異常さがあります。

## 教職員の確保は市教委・県教委の責任

学校では正規教員の採用が減り、臨時的任用講師が増えていることが教員不足の原因になっています。

千葉県教委の昨年の正規採用が1025人、臨時講師が1135人というありさまです。これでは教員の成り手が増えません。県教委は採用方法を根本的に改める必要があります。また市教委は船橋市のように市独自の「サポート教員」として教員を確保する対策などを立てることも必要です。



日本共産党は子ども達に豊かな学びを保障し教職員が健康で働き甲斐のある職場をつくるために、保護者や教職員と力を合わせて頑張ります。